

テクノ中部の環境教育プログラム

子供から大人まで一人ひとりが、体験活動や講義を通じ環境保全に対する理解と関心を深めるための環境教育にも取り組んでいます

「真冬の昆虫」観察会



夏の間、至る所で観察できる昆虫。冬の間は何処で何をしているのでしょうか？

よく考えてみると意外とわからないことが多いですよ。例えばカブトムシが冬に見られないのは、土の中で幼虫や蛹として暮らしているからです。カマキリも冬の間は背の高い草の上で卵として春を待っています。でも中には成虫のまま冬越しする虫もあります。テントウムシ、カメムシ、ハチ、アリなどがその仲間です。

本実習では冬の朽木の中、樹皮の下などに隠れている昆虫を観察し、彼らの多様な冬越しの様子を覗いてみることで、生命の力強さや尊さを学ぶことができます。



講義概要

対象者	企業・市民（小学生以下は保護者同伴）
ジャンル	昆虫、生活環境、自然環境、環境保全
講義形式	当社指定のフィールド（名古屋市内）における観察会
所要時間	1時間
講義人数	10名以下
費用	32,780円(税込)～（傷害保険は実費徴収（数百円/人程度））
必要機材	防寒可能な服装、帽子
その他	本観察会は11～2月限定です。 内容に関するご要望がございましたら、お申し付けください。

